

November 2021

WISH TIMES

イロトリドリな

あきじかん

VER.45

オンラインSI AWARD研修
「課題解決型シリコンバレーの
ビジネスを学ぶ」

writer:Honami/Rena/Ayana/Arisa

designer:Miho

translator:Moeka

私たちの好きな赤いもの

writer:Chrisanne

designer:Shiki

translator:Haruki

知ってた？中野の歴史
第一弾

writer:Yui

designer:Yukie

translator:Yui

読んでみんさい！

ここねが勧める7つの本

writer:Kokone

designer:Rika

translator:Moeka

わたしの地元の秋時間

writer:Yukie

designer:Yukie

translator:Haruki

わたしの"あき"時間

writer:Yurino



designer:Hinata

translator:Moeka


目次

- 2 私たちの好きな赤い物
- 5 読んでみんさい！ここねが勧める7つの本
- 9 わたしの"あき"時間
- 13 オンラインSI Award 研修「課題解決型シリコンバレーのビジネスを学ぶ」
- 16 知ってた？中野の歴史 第一弾
- 19 わたしの地元の秋時間

私たちの好きな赤いもの



清々しい秋風が吹きわたる頃、人々は暖かいものを用意して秋に備えます。
ある人は焼き芋を買って、またある人はお気に入りのジャケットを羽織り温もりを求めます。



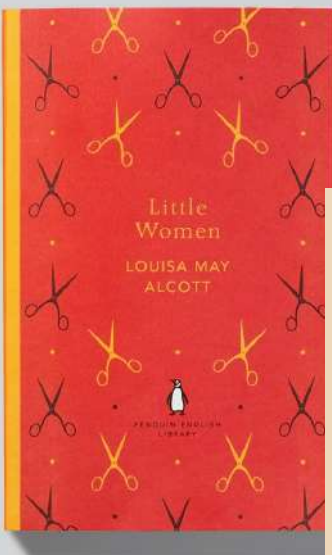
秋の良いところは温もりだけではありません。
紅葉も秋をより一層美しくさせるものの一つです。
秋の美しさを皆さんと感じるために、WISHの仲間と私のお気に入りの赤いものを共有したいと思います。



ライター: Chrisanne

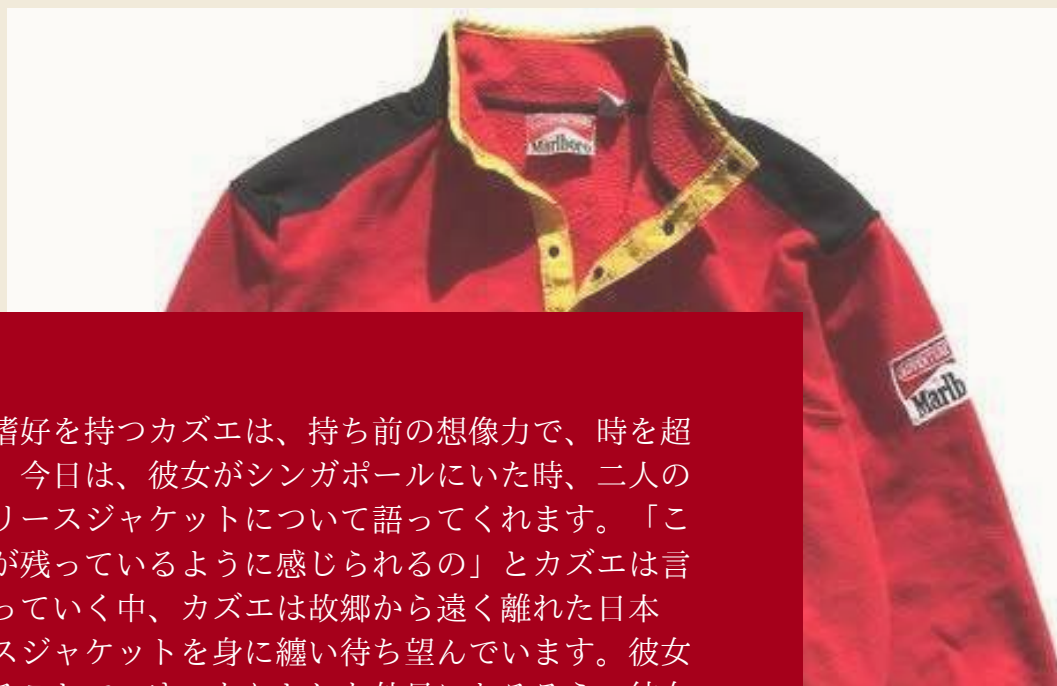
翻訳: Haruki

デザイン: Shiki



秋の気候は、ピクニックやカフェで一日中くつろぐのに最適ですが、私は肌身離さず本を持ち歩くのが好きです。私がこの秋に紹介したいお気に入りの赤いものは、若草物語という本です。私が出持っている若草物語の単行本は普通のとは少し違い、際立つ緋色のカバーに包まれています。若草物語は不朽の名作であり、学校で読んだことのある人も多いと思いますが、私はこの本を特に気に入り、この先何年もこの本を読み返したいと思っています。作者のルイーザ・メイ・オルコットは、4人の姉妹の人生の移り変わりを表現し、万人の心をつかむ作品へと仕上げました。作品のネタバレは避けたいのでこの辺にして、紙の本を読むのが大好きな私は、この本を近くの紀伊國屋で買うことを強くお勧めしますが、Kindleでは無料で読むこともできます。クスッと笑えて泣けるこの本を、ぜひ公園やカフェで読んでみてください！

Chrisanne



ヴィンテージ服に対する強い嗜好を持つカズエは、持ち前の想像力で、時を超越したデザインを考え出します。今日は、彼女がシンガポールにいた時、二人の友達からもらったマルボロのフリースジャケットについて語ってくれます。「このジャケットからは友達の余韻が残っているように感じられるの」とカズエは言います。段々と夏の暑さが弱まっていく中、カズエは故郷から遠く離れた日本で、最初の秋の到来をこのフリースジャケットを身に纏い待ち望んでいます。彼女によるとバギーパンツと合わせることで、ゆったりとした外見になるそう。彼女のコーデは快適さを最も重視していますが、90年台のベレー帽を加えることで一気に知性的な印象になります。コロナ禍により、故郷シンガポールへ帰ることは難しくなる一方。せめてもの取り柄は、故郷の心地よさを思い出させる服がクローゼットの中で彼女を待っていることです。

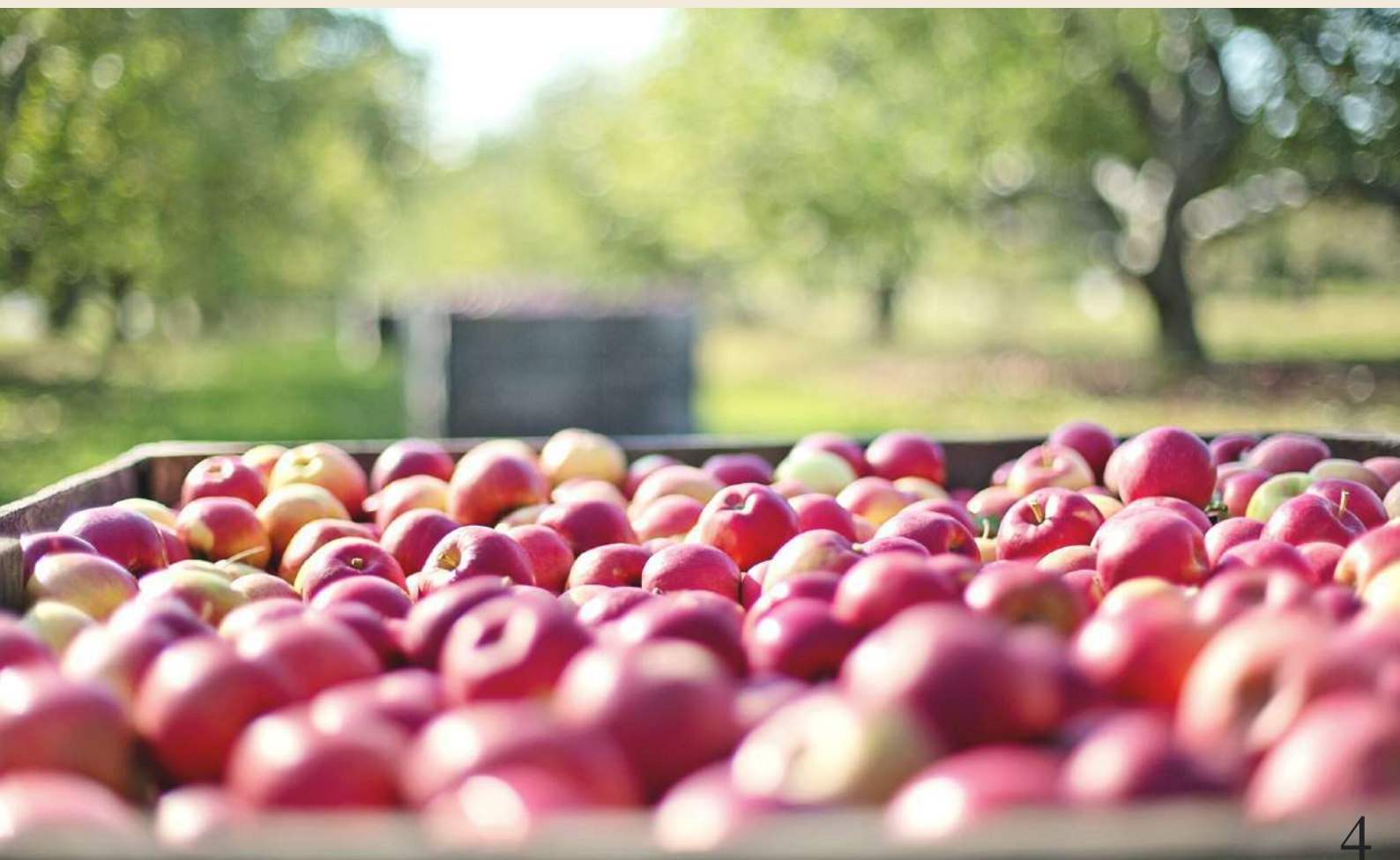
Kazue

多くの人は誕生日にアップル社のiPhone13をもらうと喜ぶかもしれませんが、EKにはかご一杯のふじりんごをあげると大喜び。この秋、西友でのりんごの値段は未だ高騰したままですが、EKはりんごの季節になるのを待ち侘びています。

りんごはスイーツの材料として世界中で人気であり、リンゴジュース、りんごケーキ、リンゴアイスなど、りんごが使われている食べ物は数知れません。その中でも、アップルパイはEKにとって大切な存在です。彼女はお父さんが紀伊國屋で特別な機会に買ってくるドイツのアップルパイを食べて育ちました。誕生日ケーキのことなど忘れて、EKはアップルパイの上に刺さったろうそくの火を消したいと思っているほど、彼女はアップルパイを愛しています。確かに、バターの層で出来ているパイ生地、あまーいシロップで煮込んだリンゴが載ったタルト、これに魅了されない人などいないわけありません。

もしも今季EKのリンゴ愛を味わいたいなら、彼女のおすすめは紀伊國屋に売っているドイツのアップルパイだそうです。

EK





読んでみんなさい！ ここねが勧める7つの本

読

書の秋ということで、本の虫である私が紹介したい作品を選んでみました。
あなたにぴったりの一冊が見つかりますように。

「温もりを感じたい人へ」

『スイート・ホーム』

原田マハ

朝晩が冷え込むようになり、人肌恋しいなあと思うことが増えてきたのではないのでしょうか。原田マハさんの作品は心温まるものばかりですが、『スイート・ホーム』は特にお勧めです。短編集なので、本を読む習慣があまりない人でも、さくっと読むことのできる小説だと思います。



ケーキ屋さんを舞台にしているので、読み終えた後はきっと甘いものが食べたくなることでしょう。この小説を通して、家族や友達、恋人など、周りの人がさらに愛おしくなること間違いなしです。

「言葉をもっと大切にしたい人へ」

『レインツリーの国』

*有川浩



誰かと好きな本が一緒だった時、運命的な何かを感じませんか？ この作品は主人公がある小説のタイトルを思い出せず、ネット上を探していたところ、本について紹介するとあるブログに出会う場面から始まります。顔も本名も知らない男女が、本の趣味が合うことを理由にお互いが気になるようになりました。ありがちな恋愛小説だなんて思わないでください。相手をもっと知りたいと思うがゆえにすれ違ってしまう二人。読者目線としてはもどかしくもなりますが、同時に、お互いを健気に思っていることがひしひしと伝わってくる美しい作品です。タイトルにどんな意味があるのかも考えながら、ぜひ読み進めてください。

*現在は「有川ひろ」として活動中

「気分爽快な小説を読みたい人へ」

『早稲女、女、男』

柚木麻子

実際に当てはまる早稲女がどれほど存在するかは分かりませんが、早稲女に対するステレオタイプは「男勝りで、強気で、媚びるのが嫌い！」といったところがあります。これは絵に描いたような早稲女と他大学のクセの強い仲間たちによって繰り広げられる、コメディ要素に富んだ作品です。登場人物は多いものの、それぞれのキャラクターがはっきりしているので読みやすく、個性と個性のぶつかり合いは読んでいて清々しいです。



何よりも主人公の破天荒さが最高のスパイスになっています。早稲女のあなたも、早稲男のあなたも、もちろんそうでない人も、この作品を通して、早稲田愛をより強めてみてはいかがでしょうか。



「秋の夜長に物思いにふけりたい人へ」

『武道館』

朝井リョウ

アイドルとして活動する女の子たちが「アイドルであり続けるとはどういうことか」という問いに向き合っていくお話です。作者は早稲田大学、文化構想学部の卒業生です。「アイドルは常に理想の姿であり続けなければならない」そう思いつつも、ラーメンをお腹いっぱい食べたい時もあるし、恋だってしたいし、時に逃げ出してしまうたくもなる。そんな葛藤の狭間に置かれる彼女らの声を聞けば、アイドルに対する見方もきっと変わるはずです。

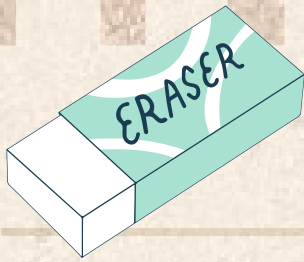
「夢とは何かをもう一度考えたい人へ」

『星に願いを、そして手を』

青羽悠

当時16歳の少年が描いたとは思えないような、胸を打たれる作品です。ジャンルに分類すると「学園ミステリー」という言葉が合うでしょう。しかし、決してジャンルを聞いただけで、この作品を読むことを躊躇しないでください。なぜなら私も、普段からミステリーを読む人間ではないからです。最近、空を見上げましたか。寒くなってくると外に出るのも憂鬱になってしまいがちですが、秋や冬の空は一層綺麗なもので、ぜひ見上げてみてください。この本を読み切った後には、自分のこれからと向き合いながら、星を探したくなることでしょう。

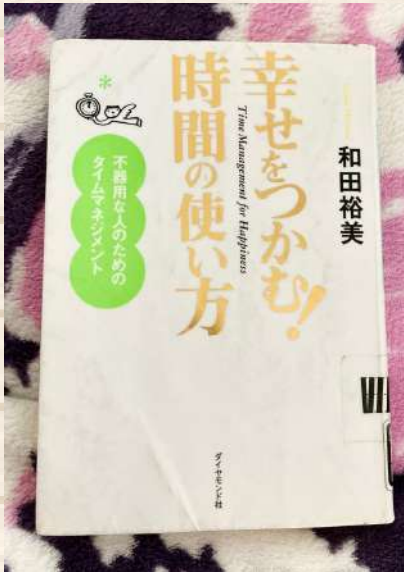




「この秋生まれ変わりたい人へ」

『幸せを掴む！時間の使い方』

和田裕美



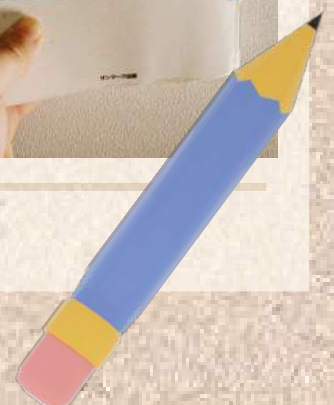
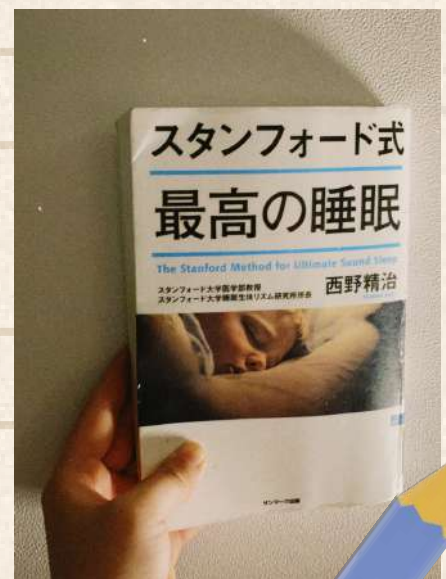
「だらだらするのをやめたい」そんな思いからこの本を図書館で手に取りました。時間はあっという間に過ぎてしまうな、と思いながら生きている人もいます。「もっと課題を素早く終わらせられたら」大学生なら誰もが一度は感じたことがある気持ちなのではないでしょうか。時間をもっと有効活用したいという熱い思いと、この本さえあれば、もっと質の濃い毎日が送れるはずですよ。手元にメモを準備してから読み始めることをお勧めします。

「清々しい朝を迎えたい人へ」

『スタンフォード式最高の睡眠』

西野精治

目覚ましを何度設定しても起きられず、授業中にも眠気が襲ってくる、という悩みを抱えている大学生は多いのではないのでしょうか。睡魔との戦いは、人類にとって永遠の課題だと思います。そんな困り事を助けてくれるのが、この本です。早起きは得意な私ですが、もっと気持ちよく目覚める方法はないだろうか、と思っていたところ、この本が解決方法を教えてくれました。「これを読めば、あなたも今日から眠気知らず！」とは言い切れないけど、きっと今よりもっと上手く眠気と付き合っていけるでしょう。



わたしの“あき”時間

Writer: Yurino
Translator: Moeka
Designer : Hinata



ちょっとしたあき時間があるとき、あなたはどのように過ごしますか？今回のWISH Timesのテーマは「イロトリドリなあきじかん」。そんなテーマにピッタリな“あき”時間の過ごし方を紹介します。

私の“あき”時間を過ごすことのできる、とっておきの場所、それは大学内の〈Uni.Cafe125〉です。このカフェはロケーションがよく、気持ちよく過ごすことができる場所です。私はこの空間がお気に入りです、アルバイトとして働いています。



このカフェは早稲田大学創立125周年を記念して、2002年にオープンしました。場所は、大隈庭園の目の前にあります。外観はガラス張りになっていて、どの席からも大隈庭園の緑を眺めることができる開放的な空間です。またオープンデッキもあり、風を感じながらお食事ができます。天気の良い日は木漏れ日が差し込む、リラックスできる場所です。ドリンクメニューは80種類以上、ベーグルサンドや日替わりランチ、手作りスイーツも楽しめます。

○ドリンクメニュー

一番人気は早稲田ブレンドです。コロンビアやサントス、マンデリンなどのブランド豆を配合した、苦みと酸味のバランスがとれた飲みやすいコーヒーです。おいしいコーヒーを片手に読書を楽しんだり、作業をしたりするのはとても心地良いですよ。

わたしがおすすめしたいのは、クリームキャラメルラテです。エスプレッソが入っているので苦みを感じつつ、キャラメルの甘さがマッチしています。ホイップクリームが乗っているので、一杯でちょっとしたデザート感覚を味わうこともできます。ホット・アイスどちらもありますが、これからの季節はホットがおすすめです。ホットにすると、上のホイップがコーヒーにとけてまろやかになり、また違った味わいを楽しむことができます。キャラメルの濃厚な甘さも、肌寒くなってくる季節にピッタリです。

○手作りスイーツ

カフェのスイーツは、すべて店内で手作りをしています。ガトーショコラやシフォンケーキ、パウンドケーキにスコーン、カボチャプリンなどです。ガトーショコラは濃厚なチョコレートを感じられる、しっとりとしたケーキになっています。特にお子様に人気です。パウンドケーキはブルーベリーやバナナ、キャラメル、杏などその日によって味が変わります。またケーキも、キャロットケーキやフルーツのタルト、クランブルケーキなど日替わりです。日によって様々な味に変わるので、何度行っても楽しむことができます。季節に合わせたスイーツも登場します。食欲の秋にはスイートポテトがおすすめです。



○こだわり

店長の小川さんは、なるべく手作り、そして無添加にこだわっているそうです。日替わりのランチやデザートは上で紹介したように、店内ですべて作っています。さらにスムージー用のシロップやドレッシングまで手作りしています。材料を仕入れる際にもなるべく無添加なものを選び、着色料などは天然由来の商品だけを扱うようにしているそうです。このカフェは、大学から近いこともあり学生や教授が多くいらっしゃいます。さらに大隈庭園など散策もしやすいことから、お子様連れのお客様や近所の方々など、幅広いお客様がご来店します。多くの人の口に入るものだからこそ、みんなの健康を考えた、安心できる商品を提供したいという想いが込められています。

○おわりに

〈UNI.CAFE125〉は、おしゃれな雰囲気でありながらとても親しみやすい空間です。それは店内のポップや並んでいる商品から手作りにこだわっていることがわかるだけでなく、お店に関わる人にも温かい雰囲気が溢れているからです。店長は、明るくおしゃべりです。店長とのおしゃべりを楽しみにしてご来店くださるお客様もいます。こちらも店長のこだわりで、私たち従業員にはマニュアルがありません。自分で考えて動くからこそ、お客様がどのようにしたら快適に過ごすことができるか考えたり、自分から積極的にお客様とお話をしたりします。もちろん食事やスイーツを楽しむこともできますし、ふらっと立ち寄った際にお話ができる、そんな安らぎを感じる空間になっていると思います。ちょっと癒されたいとき、心に“空き”があるとき、ぜひ〈UNI CAFE125〉で満たされてみませんか？

参考文献：

WASEDA-SHOP 早稲田大学オフィシャルグッズオンラインショップ
[HTTPS://WWW.WASEDA-SHOP.COM/PDETAIL57/](https://www.waseda-shop.com/pdetail57/)



オンライン
SI Award研修
課題解決型
シリコンバレーの
ビジネスを学ぶ



ライター：
Moeka, Honami,
Rena, Ayana, Arisa
翻訳：Moeka
デザイン：Miho

夏休みに行われた1週間のオンラインSI Award研修では、Zoomを用いて米国カリフォルニアのシリコンバレーと接続し、5名の寮生が参加した。

初日はこれからのグローバル社会をリードするベンチャーキャピタル経営者の講話をはじめ、Rakuten USAの社員の方に講師としてビジネスに関する新たな価値観やものの見方について、多様な視点からお話していただいた。また、2日目からは寮生がグループに分かれ、ビジネスの課題解決に向けてプレゼンを行った。そこで今回は研修で得た学びの体験談を語ってもらう。

端から求められるレベルの高さに心が折れかけ、一週間やっていけるのかと本気で悩んだプログラム初日。しかしそんな煩悶は蛇足であることにすぐに気がつく。

私たちは「こんなサービスが欲しい！」というテーマを元に、最終的に一つのビジネスとして楽天USAにビジネスピッチをするために、文字通り“24/7”話し合いを重ねた。その中では、メンバーそれぞれ譲れない部分というものもあったし、プレゼン相手の心をいかに掴むかも3人でアイデアを出し合う必要があった。

しかし、プレゼンの直前まで改良を重ね、最後までより良いものを目指したいと望む気持ちが皆同じであったため、とても楽しく意見を言い合うことができたのだと思う。私にとって今回の体験は、グループワークの面白さに改めて惹きつけられた時間だった。共に過ごしたメンバーにはとても感謝している。

最後に親愛なる友から与えられた私の異名を紹介しよう。

"You are an SI enthusiast."

SIプログラムに熱狂する学生生活を共に送ろうではないか。

Honami

ビジネスは堅苦しいものだ、と商学部の私は感じていた。

実は今回の研修に参加した理由も、商学部生としてまだ詳しくないビジネス社会について詳しくなろうと思ったからだ。しかし、今回のSIアワード研修では、自分のビジネスや社会に対する印象が大きく変わった。

課題研究のテーマが「日本の良さを活かした、アメリカでの新たなビジネスプラン」だった。「好きなことを極めた人がシリコンバレーで成功している」と講師の方が仰っていたことが印象的で、私は自分が好きなアニメ・ゲームなどのサブカルチャーをテーマにしようと思った。勿論制限時間や具体的な数字の提示などビジネスの厳しさも学んだが、私のサブカルチャーに対する情熱がまさかここで活かせるとは思ってなくて、プレゼン後、講師に褒められた時は嬉しくてテンションが上がった。

アメリカ最先端のシリコンバレーで働く方々から課題研究の指導とビジネスについて教わる機会を得られて貴重な経験が出来たことはWISHでの思い出となった。

Rena

SIアワード研修を通して強く実感したのは、スピード感の違いだ。シリコンバレーで働く方々は、「思い立ったが吉日」の精神を大切にしているように感じた。失敗を恐れない姿勢や、誰よりも先に新しいものを生み出そうという熱意がオンライン越しでもひしひしと伝わってきた。

私たちもこの感覚を身に着けるべく、新事業案のプレゼンを1週間で完成させるという課題が与えられた。しかも発表時間はたった10分。シリコンバレーの方々にとっての5分は私たちにとっての30分と同じ感覚だということ、たった10分のプレゼンでも相手の貴重な時間を割いてもらっている意識を忘れないことを心に留め、短い時間でいかに内容や情熱を伝えるか考えた。

今回の研修で学んだ二つのポイントは、すぐに行動することと短時間で伝えきることであり、これからも様々な場で実践することを目指したい。

Ayana

私はアワード研修を通して、大学の正課では得られない学びを得るとともに、互いに切磋琢磨しあえる仲間に出会うことができた。

私のチームは発表の中間フィードバックを受け、サービスを考える上で重要なアメリカの顧客ニーズに関するリサーチが不十分であることに気づいた。最終プレゼンまで時間が限られている中でフィードバックを踏まえ、チームの二人と協力して再度話し合い、全員が満足のいくプレゼンを完成させることができた。朝早くから夜遅くまでプレゼン準備に取り組むこともあったが、大変だったからこそ互いに協力し合い、仲間との絆をより深めることができた。そして、講義やRakuten USAのオンラインオフィスツアーなど毎日充実したプログラムが準備されていて、私にとって研修の一週間は本当にあっという間だった。

入寮した頃からずっと夢だったアワード研修に参加することができて非常に良い経験になった。

Arisa

RYOKAN MATSUMOTO

Arisa, Honami, Moeka



USAkiba

SIアワード研修 楽天USA新事業案

・ターゲット層

- 旅館周辺の現地の人（日帰りもOK）
- カリフォルニア州以外の現地の人（宿泊）
- 国外からの旅行者

・場所

- カリフォルニア州ロサンゼルス
- 周囲に観光地やアクティビティが多い
- 近くにリトルトーキョーがある



中野の歴史を知った？ 第一弾



Writer: Yui
Translator: Yui
Designer: Yukie

And Cups Cake

WISHを出て、早稲田通りを大学の方へ歩いて行く。中野ブロードウェイ、新井薬師の商店街の前を通り、ココスを過ぎたら、可愛らしい一軒家のカフェがある。木でできたドアと、コーヒー豆と葉っぱのロゴが目印の「ひと・いきカフェ エカイエ」だ。小さなドアをくぐると、その日によって違う方が得意料理を作っている。エカイエは「シェアカフェ」が広まる前から、このような体制で続いてきた。ある方が作る料理を目的に行くのもよし、その日誰がお料理を作っているのかを知らないで行くのもよし、のんびりしに行くのもよし。アットホームな雰囲気は、東京の忙しさを忘れさせてくれる。

私はたまに自転車で大学に行くのだが、通学中エカイエの前を通って、いつか行ってみようと思っていた。なので、夏休みもあと少しで終わるという日に、エカイエに初めて行ってみた。美味しいシチューを食べて、その日の店主であった、ののじさんとお話をしていたら、ののじさんが中野の歴史に詳しい中村さんという方があと少しでお店に来ると教えてくださった。その時、中村さんが話してくださった中野の面白い話をWISHの皆さんにもお届けしたいと思い、この記事を書いている。

ひと
いき
カフェエ
カ
イ
エ



初めてエカイエに行った際にいただいた食事（ホクホクのかぼちゃスープとジューシーなソーセージが野菜不足の体に染みる）
 ののじさんは第1第3日曜日にカフェをやっている
 いわゆる昭和の喫茶店のメニュー（ナポリタン、サンドイッチ等）がおすすめ。

以下は、中村さんとのインタビューと自分で調査したことをまとめたものです。

【中野の犬小屋】

時を遡ること300年、江戸時代の中期には徳川綱吉が将軍だった頃の話。。。
 みなさんもお存知の通り、徳川綱吉は「生類憐れみの令」を発令し、動物の殺生を制限し、特に犬は厳重に保護した。「生類憐れみの令」は綱吉が犬を溺愛したため江戸中の野良犬を養うよう強要した、と考えられていることが多いが、最近では犬同士または犬と人とのトラブルを回避する目的として野犬を收容する施設を作るために、発令されたと考えられている。

実は、その犬屋敷は、中野、大久保、四谷にあり、中野のは一番大規模なものであった。犬屋敷は1695年末から、1709年までに廃止されるまで15年間あったといわれており、犬屋敷は区役所を中心に30万坪ほどあった。幕府の公式記録によると、10万頭から20万頭もの犬が集まったそうだ。ちなみに、中野区役所前に犬の像があるが、あれはこの犬屋敷にちなんで作られている。

当初は犬小屋は現在のゼロホールあたりに作られていたのが、犬を收容し続けていると囲いが足りなくなるために増設を繰り返し、中野駅をぐるりと取り囲むように5つの囲いが高円寺駅近くまで広がった。犬屋敷は別名「お囲い御用屋敷」ともいい、現在の中野4丁目付近の旧町名「囲町」は、この犬屋敷の別名に由来している。

次の1月号では、江戸時代に中野区に象がきたという話を載せる予定なので、ぜひ読んで欲しい。

中村 信子さん
 人形劇俳優、人形美術家。
 どんきい劇場パペットワークショップ主宰
 中野区在住
 *掲載許可取得済み

■経歴

東京都出身。劇団風の子国際児童演劇研究所卒業。
 小学校、児童館、幼稚園・保育園等での公演活動の他、TV、映画（吉永小百合 主演100本記念「つる」）、CM等に出演。
 日本児童文化専門学院、群馬育英短期大学で非常勤講師を務める。
 都内を中心に児童館で人形劇、人形作りの指導を続け現在に至る。
 *現在 NHK Eテレ「おかあさんといっしょ」に人形操作レギュラー出演中。（やぎざん郵便他）
 *2000年よりパペットワークショップとして、誰でも楽しめるパペット作り、演じ方の講習を行っている。
 *中野区内において、地域文化振興のため、こどもの居場所事業「わくわく銀河団」「ヌマスタ」、文化体験プログラムなどを企画、運営。また、2013年より子育て支援、こどもとアート、をテーマにした「なかの育フェス」などをプロデュース。



参考文献：

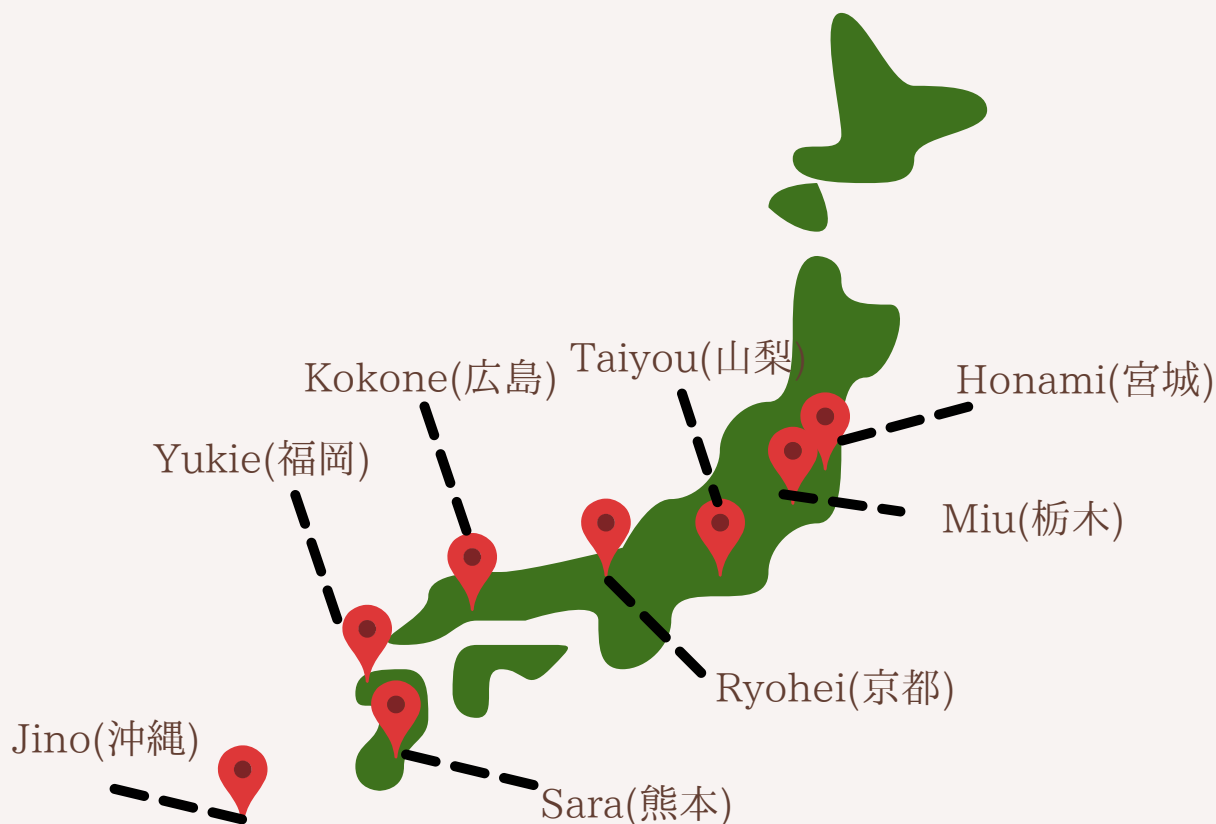
わたしの地元の秋時間

Writer: Yukie
Translator: Haruki
Designer: Yukie

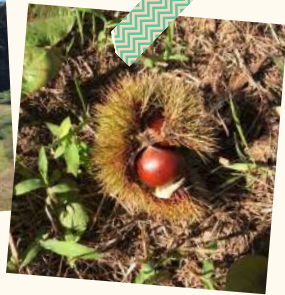
WISHTimesの連載企画「RA's ライフ」を引継ぎ、「Resident's ライフ」を特集します！このコーナーでは毎回異なる寮生をピックアップして、WISHer(※)の知られざる姿を紹介してきます。さて今回は、「わたしの地元の秋時間」と題して、寮生が地元で撮影した各地の秋の風景を紹介します。WISHには全国各地、そして世界各国から多くの寮生が集い、生活を共にしています。そんな寮生が地元の秋の時間を写真にして送ってくれました。

コロナ禍でなかなか旅行に行けない中、日本各地の秋の風景を見て心を癒してください！

今回は以下の8県の秋深まる風景をご紹介します。



※WISHerとはWISHに住人をさす俗語です。



11F MIU (栃木)

栃木県那須町の実家の写真を母が送ってくれました！
秋はお米、野菜、栗、柿など収穫が忙しくなるので、
週末は帰省して手伝いに行こうと思っています！

11F KOKONE (広島)

縮景園という、私が通っていた中学高校の近くの日本
庭園で撮った写真です
水面に映る紅葉がとても綺麗で、思わずシャッターを
たくさん切ってしまいました。



10F HONAMI (宮城)

昨年10月に学校の通学路から広瀬川を撮った1枚です！
仙台は秋冬に急に冷え込みますが、空が澄んでいてとても
綺麗です（特に夕焼け!!）。皆さんもコロナが明けたら小旅
行しに是非いらしてください！

11F SARA (熊本)

数年前、9月下旬に撮った阿蘇山の大観峰からの景色です！
9月はまだ暑いので、紅葉は見られませんでした。 空気も
美味しいですし、料理も最高に美味しいので、いつか皆さ
んも阿蘇に遊びに来てください～！

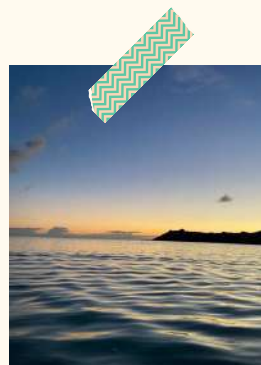


3F RYOHEI (京都)

京都府福知山市にある実家付近の風景と、地元で有名
な大江山から見た雲海の写真です！大江山の雲海は11
月ごろが見頃です！この山には鬼の伝説もあります☺

3F JINO (沖縄)

地元の沖縄で出かけた際に撮りました。
ちょうどサンセットの時間で綺麗でした。



3F TAIYOU(山梨)

山梨県北杜市の夕焼けです。
僕が通っていた高校から最寄り駅に行くまでの坂で撮りました。

11F RA YUKIE (福岡)

私の地元福岡県糸島市にある【雷山 千如寺大悲王院】で撮ったものです。

10月下旬頃になると紅葉が美しく、県内外から沢山の人が訪れます。そしてこのお寺の100円おみくじが非常に当たるんです！！コロナが落ち着いたらぜひ遊びにいらしてください♪



To be continued ...

Contributions

Writers



Arisa



Honami



Kokone



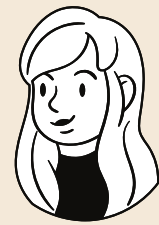
Chrisanne



Yurino



Ayana



Rena

Translator



Haruki

Designers



Rika



Shiki



Hinata

RA Supporters



Moeka



Miho



Yukie



Ren



Yui